

## 箆笥地区協議会

# 平成25年度 「緑化推進」分科会の活動報告

緑化推進分科会は、箆笥管内の「緑化推進」をメインに活動しています。

箆笥地区が「みどりの推進モデル地区」に指定されていることから、更なる緑化推進への意識向上のために、たんすC&G(クリーンアンドグリーン)作戦と名付け、様々な手法で緑化推進の啓発を行っています。

平成25年9月29日(日)には、牛込箆笥地域センター管理運営委員会主催のUTCオンステージと共催で、『UTCオンステージ&たんす緑と花のまちづくりフェア2013』を開催しました。25年度のフェアでは、箆笥地区内で工夫して緑化に取り組んでいる方の表彰、たんすギャラリーにおいて表彰対象の方々や当分科会の緑化活動を紹介するパネルの他、まち歩きをして見つけた地域に咲く花々を紹介するパネルの展示、地域センター入り口で花苗販売及び産直野菜販売等を行いました。あさひ児童遊園では、家庭でも簡単に緑化を楽しむことができる粘土団子作りを体験できるコーナーを実施しました。

次に、「モデルガーデン」事業ですが、あさひ児童遊園、新小川公園のほかに、新たに中町公園が加わり3か所になりました。このモデルガーデン事業は、公園サポーター制度を利用し運営しています。この制度を利用することにより、定期的に花苗の配布を受けるなど、運営面で区からのサポートを受けることができます。中町公園の運営方法は、今までの2つの公園とは異なり、地区協委員が公園サポーターになるだけでなく、町会を通じて近隣の住民の中で協力してくれる方を募集しました。結果として、3名の方が名乗りを上げていただくことができました。今後新たな公園を探し、4か所目のモデルガーデンを作っていく計画ですが、中町公園同様、町会等の協力を得て運営できる体制を作っていきたいと考えています。

続いて、「みどりのカーテンプロジェクト」への参加です。区民ホールとあさひ児童遊園との間の当区民施設の敷地内に、プランター栽培のゴーヤや朝顔、シカクマメを植え、みどりのカーテンを作り上げました。今年のゴーヤは、昨年度に比べると収穫数は少なめでしたが、一緒に育てた唐辛子を「高齢者給食」や地域センター事業の「たんすサロン」に食材として提供するなど、地産地消にも努めました。「みどりのカーテンプロジェクト」は、継続して実施していくものですので、来年度もみどりのカーテンを実施していきたいと考えています。